

平成31年4月7日執行の秋田県議会議員一般選挙について

平成31年4月7日執行の秋田県議会議員一般選挙は、立候補者の数が定数を超えなかったため、無投票となりました。
なお、当選された方の任期は、2019年4月30日から2023年4月29日までです。

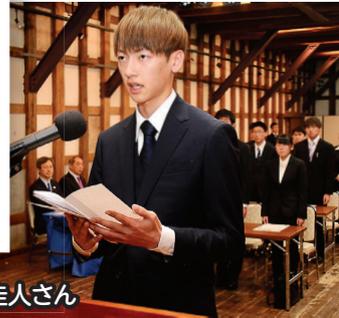
問●美郷町選挙管理委員会事務局(町総務課内) ☎0187(84)1111

美郷町商工会・美郷町企業連携協議会

新入社員の集い

3月26日、名水市場湧太郎で「新入社員の集い」が開催されました。この式典は美郷町商工会と美郷町企業連携協議会が主催しているもので、当日は今春に町内企業等へ入社する12事業所23名と関係者が出席しました。このうち、株式会社斉藤光学製作所へ入社する今野圭人さんが、「私たちが5年後、10年後に美郷町で働いていることを誇りに感じ、私たちより若い世代に対して、この地で働くことの誇りや魅力を伝えられる社会人を目指したいと思います」と、出席した新入社員を代表して抱負を述べました。

式典終了後には、フリーアナウンサーの相馬礼子さんが講師を務めた実務研修が行われ、社会人としての心構えや言葉遣いについて学びました。



■今野圭人さん

火の取り扱いにご注意! 春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月7日から4月13日までの7日間実施されました。運動初日の4月7日には、丸子川河川敷(大畑)で出発式が行われ、集まった団員たちは、それぞれの地区へ防火広報パレードに向かい、火の取り扱いに注意するよう各家庭に呼び掛けました。



町内の小学校を視察

タイ王国ワチュラウッド王立学校の教員が視察のため来町

4月9日から2日間にかけて、タイ王国にあるワチュラウッド王立学校の教員6名が教育活動の視察のため来町しました。教員たちは六郷小学校と千畑小学校を訪れ、入学式や授業の様子を視察しました。また、美郷町歴史民俗資料館や六郷湧水群などにも立ち寄り、美郷町の文化にふれる活動も行われました。今回の視察は、ワチュラウッド王立学校が秋田県教育委員会と教育連携協定を締結していることから行われたもので、美郷町のほか、仙北市や羽後町なども視察しました。



みんなで守ろう水環境

水辺環境クリーンアップ作戦

美郷町の大切な財産である「水環境」。その保全を目的に毎年実施されている水辺環境クリーンアップ作戦が4月14日に行われ、町内外の個人や団体を合わせた122人のボランティアが参加しました。

ことしの水辺環境クリーンアップ作戦は、数多くの清水が点在している六郷地区で実施されました。参加者たちは道路沿いに落ちている空き缶やたばこの吸い殻などを拾い集めたほか、御伊勢堂川の中に入り、ブラシなどを使用して汚れを取り除きました。

参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



MISATOPICS

町の話



タイ王国との交流

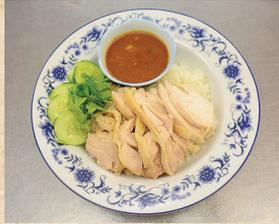
昨年度のタイ食文化講座でも作った「カオマンガイ」と「ガパオライス」をご紹介します。これらの料理は近年、日本でも人気が高まっています。



日本でも人気があるタイ料理を紹介するよ!

カオマンガイ

鶏のスープで炊いたご飯に茹でた鶏肉をのせ、ピリ辛のタレをかけて食べる料理です。ニンニクやショウガ、パクチーをふんだんに使用しているため、やみつきになる味付けとなっています。このピリ辛のタレには「味噌」が使用されていますが、日本の味噌ではありません。タイ王国の調味料である液体状の味噌が使用されています。



ガパオライス

タマネギやパプリカなどの野菜類、鶏ひき肉、バジルを炒めたものをご飯にかけて食べる料理です。味付けには、タイ王国を代表する調味料であるナンプラーが使用されています。日本では鶏ひき肉を使用したガパオライスが多いですが、タイ王国では鶏肉のみならず、豚肉や魚介類、キノコ類などさまざまな食材が使用されています。



除雪を考慮するほどの降雪があったり、温度差がとても大きい日があったり、起伏のある4月でした。気象は平年並みという穏やかさがほしいところですが、反面、こうした起伏は記憶に残るもので、変化を迎える4月として、その意味では良かったのかも知れません。

さて、4月末日をもって「平成」の時代が終わります。改めて振り返ると、経済環境や社会環境、また自治体環境においても、やはり起伏のあった時代でした。その意味では記憶に残る時代という総括がふさわしいように思います。みなさんはいか

がでしょうか。そして幕を開ける「令和」の時代。どういう時代になるのか、どういう変化をしていくのか、とても楽しみです。もあり、大きな期待もあるところです。

私はこうした変化に期待する、あるいは楽しむ姿勢は、すべての分野で大切ではないかと思えます。それは諸行無常が世の真理である以上、変化を避けては通れないからです。とするならば、社会や経済など数多の変化を正面から受け止め、それに対する対応も付随変化として理解し、ひっそりめて楽しむ、あるいは期待するという、前向き

な姿勢で臨むべきではないかと思えます。

そして現在、美郷町でもいくつかの動きがあります。まずは地方交付税減少を受けた「財政健全化方針」。今年度が最終対応となり、補助金や施設利用料などを調整します。つぎに人口減少等を踏まえた「公共施設等最適化実施計画」。公共施設の適切な保有を具体化します。また既存第三セクター統合による「あきた美郷づくり株式会社」の発足。既存組織の持つ課題を解決しながら観光・物販・情報発信の展開を強化します。すべて望ましい姿に向けての動きです。

こうした展開、はじめから後ろ向きの姿勢でとらえれば、不確かな不安が増幅されますので、どういう向きでとらえてほしいのかは申すまでもありません。みなさんには正しい情報のもと、こうした展開を前向きな姿勢でとらえていただきたいと思います。

「令和」の時代。前を向く姿勢を大切にしていきたいものです。

前を向く

COLUMN WINDS

コラム 風

美郷町長
松田知己



六郷小学校入学式にてあいさつをする松田町長